

目 次

第1章 はじめに.....	1
1.1 背景.....	1
1.2 実証実験の目的と国土技術政策総合研究所の役割.....	4
1.2.1 実証実験の目的.....	4
1.2.2 国総研の役割.....	5
1.3 本資料の位置付けと構成.....	6
第2章 実証実験と調査の概要.....	7
2.1 実証実験の概要.....	7
2.1.1 道の駅等を拠点とした自動運転サービス.....	7
2.1.2 実証実験の枠組み.....	9
2.1.3 実験箇所.....	10
2.1.4 走行ルートと走行方法.....	13
2.1.5 地域実験協議会.....	14
2.2 実験車両の概要.....	15
2.2.1 実験車両協力者の公募.....	15
2.2.2 選定された実験車両.....	17
2.3 手動介入発生要因の特定のための調査.....	18
2.3.1 手動介入とは.....	18
2.3.2 調査方法.....	19
2.4 社会受容性把握のための調査.....	24
2.4.1 自動運転に対する社会受容性.....	24
2.4.2 調査方法.....	25
第3章 分析結果と得られた知見.....	27
3.1 手動介入発生要因の特定と対策の提案.....	27
3.1.1 手動介入の発生要因の内訳.....	27
3.1.2 手動介入の発生を抑制する対策.....	37
3.1.3 対策の事例.....	39
3.1.4 小括.....	54
3.2 自動運転に対する社会受容性の分析結果.....	55
3.2.1 自動運転車を用いた公共交通の導入賛否.....	55
3.2.2 自動運転車を用いた公共交通の利用意向.....	58
3.2.3 自動運転の技術の信頼性.....	60
3.2.4 自動運転サービスによる外出機会への影響.....	63
3.2.5 小括.....	64
第4章 おわりに.....	65
4.1 研究成果のまとめ.....	65
4.1.1 手動介入発生要因の特定と対策.....	65
4.1.2 自動運転に対する社会受容性の把握.....	65
4.2 研究成果を踏まえた取組.....	66
4.2.1 自動運行補助施設（路面施設）に係る技術的要件の整理.....	66
4.2.2 自動運転サービスの社会実装に向けた継続的支援.....	66
参考文献.....	68
付録資料.....	70